

<評価結果のイメージ>

この資料は、公立大学法人大阪府立大学の
平成 19 事業年度業務実績の自己評価に基づき、
仮に作成した評価結果のイメージです。

目 次

| | | |
|-----|-------------------------------------|-------|
| 1 | 公立大学法人大阪府立大学の年度評価の考え方 | 1 ページ |
| 2 | 全体評価 | * ページ |
| | (1) 評価結果と判断理由 | |
| | (参考) 17 年度評価、18 年度評価 | |
| | <全体評価にあたって考慮した事項> | |
| | ① 公立大学法人大阪府立大学の基本的な目標 | |
| | ② 平成 19 年度における重点的な取組み | |
| | ③ 特筆すべき取組み | |
| | (2) 評価にあたっての意見、指摘等 | |
| 3 | 大項目評価 | |
| 3-1 | 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価 | * ページ |
| | (1) 評価結果と判断理由 | |
| | (参考) 17 年度評価、18 年度評価 | |
| | <大項目評価にあたって考慮した事項> | |
| | ① 特筆すべき小項目評価 | |
| | ② 国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」についての実施状況 | |
| | <小項目評価の集計結果> | |
| | (2) 評価にあたっての意見、指摘等 | |
| 3-2 | 「財務内容の改善」に関する大項目評価 | * ページ |
| | (1) 評価結果と判断理由 | |
| | (参考) 17 年度評価、18 年度評価 | |
| | <大項目評価にあたって考慮した事項> | |
| | ① 特筆すべき小項目評価 | |
| | ② 国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」についての実施状況 | |
| | <小項目評価の集計結果> | |
| | (2) 評価にあたっての意見、指摘等 | |

3-3 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価 *ページ

(1) 評価結果と判断理由

(参考) 17年度評価、18年度評価

<大項目評価にあたって考慮した事項>

① 特筆すべき小項目評価

② 国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」についての実施状況

<小項目評価の集計結果>

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

3-4 「その他の業務運営」に関する大項目評価 *ページ

(1) 評価結果と判断理由

(参考) 17年度評価、18年度評価

<大項目評価にあたって考慮した事項>

① 特筆すべき小項目評価

② 国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」についての実施状況

<小項目評価の集計結果>

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

3-5 「大学の教育研究等の質の向上」に関する大項目評価 *ページ

(1) 進捗状況の確認結果

(参考) 17年度進捗状況、18年度評価

<進捗状況の確認にあたって考慮した事項>

① 特筆すべき進捗状況

(2) 進捗状況の確認にあたっての意見、指摘等

＜法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ＞

1 公立大学法人大阪府立大学の年度評価の考え方

- 本評価委員会においては、「公立大学法人大阪府立大学にかかる年度評価の考え方について」（平成17年12月決定、平成19年2月改正）に基づき、次のとおり、平成19事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

（評価の基本方針）

評価にあたっては、国立大学法人評価委員会における評価方法等を踏まえつつ、特に、法人化を契機とする大学改革の実現、教育研究の特性への配慮、公立大学としての地域における役割と府民への説明責任、の3点を考慮した。

（評価の方法）

評価は「項目別評価」と「全体評価」を行い、このうち「項目別評価」では、法人による自己評価・自己点検の結果をもとに、業務実績に関する事実確認、法人からのヒアリング等を通じて、年度計画の進捗状況を確認するとともに、法人の自己評価・点検の妥当性の検証と評価を行った。また、「全体評価」では、「項目別評価」の結果等を踏まえつつ、中期計画等の進捗状況全体について総合的な評価を行った。

（「教育研究等の質の向上」に関する項目の取り扱い）

「項目別評価」のうち、「教育研究等の質の向上」に関する項目については、教育研究の特性への配慮から、その専門的な評価については、平成21年度に実施予定の「認証評価機関による評価」を踏まえることとした。したがって、本評価委員会としては、専門的な観点からの評価は行なわず、進捗状況の確認にとどめた。（地方独立行政法人法第79条参照）

= 19年度の評価に当たっての視点を記載 =

＜法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ＞

2 全体評価

(1) 評価結果と判断理由

- 4ページ以降に示すように、大項目のうち、「業務運営の改善及び効率化」、「財務内容の改善」、「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」及び「その他の業務運営」の4つの項目について、※評価（※※※※※※）が妥当であると判断し、また「大学の教育研究等の質の向上」の項目についても「計画どおり進捗している」ことを確認した。

「全体評価」にあたっての特記事項を記載

- 以上の大項目評価の結果に加え、公立大学法人大阪府立大学の基本的な目標、19年度の重点的な取組み等を総合的に考慮し、平成19事業年度の業務実績については、「全体として※※※※※※」とした。

なお、法人の取組みをふまえて、本評価委員会として、次の意見を付記する。

評価委員会としての付記意見を記載

| | | | | | |
|---------------------|--------------------|------------|----------------|--------------|----------------|
| 業務運営の改善及び効率化（※ページ） | S 特筆すべき進捗状況 | A 計画どおり | B おおむね計画どおり | C やや遅れている | D 重大な改善事項あり |
| 財務内容の改善（※ページ） | S 特筆すべき進捗状況 | A 計画どおり | B おおむね計画どおり | C やや遅れている | D 重大な改善事項あり |
| 自己点検・評価及び情報提供（※ページ） | S 特筆すべき進捗状況 | A 計画どおり | B おおむね計画どおり | C やや遅れている | D 重大な改善事項あり |
| その他の業務運営（※ページ） | S 特筆すべき進捗状況 | A 計画どおり | B おおむね計画どおり | C やや遅れている | D 重大な改善事項あり |
| 大学の教育研究等の質の向上（※ページ） | 「計画どおり」進捗していることを確認 | | | | |

法人の基本的な目標、19年度の重点的な取組み等を総合的に考慮して・・・

＜全体評価の評価結果＞
「全体として※※※※※※」

- (参考) 17年度評価：全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している
18年度評価：全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している
(理事長のリーダーシップのもと、教育研究への取組みや環境整備に取組む)

<法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ>

<全体評価にあたって考慮した事項>

①公立大学法人大阪府立大学の基本的な目標

法人の基本的な目標について、次のとおり確認した。

- ・ 大阪府立大学は、平成17年4月に3つの大学の再編・統合と公立大学法人化を併せて行うという大きな改革を実施し、新しい組織のもと制度や枠組みの改革に取り組んだ。
- ・ 法人化3年度目である平成19年度においては、中期目標期間の中盤を迎え、期間内における中期目標の達成に向けて、積極的な取り組みを行った。

②平成19年度における重点的な取り組み

平成19年度においては、次のような事項に重点的に取り組んだことを確認するとともに、小項目評価のウェイト付けとの整合性を確認した。

- ・ 文部科学省採択事業などを通じて、さらなる教育改革を行うとともに研究水準の向上に努めた。
- ・ 大学の将来像（ビジョン）についての検討をすすめた。
- ・ 産学官連携機構を核として、地域貢献・社会貢献を推進した。
- ・ 自立性・機動性を発揮した戦略的な大学運営を進めた。
- ・ 効率的で効果的な大学運営に向け、さらなる業務運営の効率化・合理化を進めた。
- ・ 安定した経営基盤の下に自律的経営を行うことができるよう、外部研究資金の獲得をさらに強化した。
- ・ 適正な大学業務の執行を図るため、内部監査の充実を図った。
- ・ 柔軟で弾力的な人事制度を推進した。
- ・ 自己点検・評価を実施した。
- ・ 大学運営の大きな課題である施設整備について、中百舌鳥キャンパス及びりんくうキャンパスにおける施設の整備計画をまとめ、計画的に取り組んだ。

③特筆すべき取り組み

項目別評価の結果をもとに、特筆すべき取り組みについて、次のとおり確認した。

| | |
|-------|---|
| ----- | |
| : | : |
| : | : |
| : | : |
| : | : |
| : | : |
| : | : |
| : | : |
| : | : |
| ----- | |

<小項目のⅣ評価（年度計画を上回ったもの）、Ⅲ評価（年度計画を
順調に実施したもの）のうち特筆すべき取り組みを記載>

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

<委員からのコメントを記載>

<法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ>

3-1 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価

(1) 評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、A評価（「計画どおり」進捗している）である。

「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価の判断理由のことから、大項目評価としては、※評価（※※※※※）が妥当であると判断した。

| 評価結果 | S 特筆すべき 進捗状況 | A 計画どおり | B おおむね計画 どおり | C やや遅れてい る | D 重大な改善事 項あり |
|------|--------------------|------------|--------------------|------------------|--------------------|
|------|--------------------|------------|--------------------|------------------|--------------------|

(参考) 17年度評価：A

18年度評価：A（理事長のリーダーシップのもと、計画に沿って全学的な運営が着実に行われた）

<大項目評価にあたって考慮した事項>

①特筆すべき小項目評価

- 小項目評価がIV（計画を上回って実施）の項目は次のとおりであった。（（ ）は小項目評価の番号、【 】は小項目評価の結果及びウェイト付け）

(158) 講師以上の職階への任期制導入【IV】

評価の判断理由を記載

②国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」についての実施状況

- 国立大学法人評価委員会において、国立大学法人が最小限取り組むべき共通事項としてとりまとめた「年度評価における業務運営等の共通事項に関する観点」を参考に、次の9項目の実施状況をチェックし、すべてについて着実に実施されていることを確認した。

- ・ 経営戦略を企画立案するマネジメント体制の整備
- ・ 理事長のリーダーシップによる、効率的・戦略的な法人経営
- ・ 法人の裁量を活かした、総合的な戦略や柔軟かつ迅速な資源配分
- ・ 法人の裁量やマネジメントの仕組みを活かした、資源配分の事後チェックと見直し
- ・ 迅速かつ効率的な意思決定等、業務運営の合理化
- ・ 一定程度以上の収容定員の充足率
- ・ 経営会議の設置、役員への外部人材登用等、外部有識者活用による運営の活性化
- ・ 監事、会計監査人等、監査機能の充実
- ・ 人事評価制度の導入

<法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ>

<小項目評価の集計結果>

35項目のすべてが、小項目評価のⅢまたはⅣに該当し、ウェイト2を考慮すると、Ⅲ～Ⅴの項目の割合は38/38となることから、小項目評価の集計では、A評価（「計画どおり」に進捗している）となる。

| | 評価の対象項目数 | ウェイトを考慮した項目数 | I 計画を大幅に下回っている | II 計画を十分に実施できていない | III 計画を順調に実施している | IV 計画を上回って実施している | V 計画を大幅に上回って実施している |
|-------------|----------|--------------|-------------------|----------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|
| 運営体制の改善 | 14 | 16 | 0 | 0 | 16 | 0 | 0 |
| 教育研究組織の見直し | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 人事の適正化 | 13 | 14 | 0 | 0 | 13 | 1 | 0 |
| 事務等の効率化・合理化 | 6 | 6 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 |
| 合計 | 35 | 38 | 0 | 0 | 37 | 1 | 0 |
| | | | | | 38 | | |

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

<委員からのコメントを記載>

＜法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ＞

3-2 「財務内容の改善」に関する大項目評価

(1) 評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、A評価（「計画どおり」進捗している）である。「財務内容の改善」に関する大項目評価の判断理由のことから、大項目評価としては、※評価（※※※※）が妥当であると判断した。

| | | | | | |
|------|--------------------|------------|--------------------|--------------|--------------------|
| 評価結果 | S 特筆すべき 進捗状況 | A 計画どおり | B おおむね計画 どおり | C やや遅れている | D 重大な改善事 項あり |
|------|--------------------|------------|--------------------|--------------|--------------------|

（参考）17年度評価：A

18年度評価：A（目標を大幅に上回る外部研究資金を獲得し、経費の抑制等が着実に進められた）

＜大項目評価にあたって考慮した事項＞

①特筆すべき小項目評価

- 小項目評価がⅣ（計画を上回って実施）の項目は次のとおりであった
（166）外部研究資金の獲得【Ⅳ・ウェイト2】

評価の判断理由を記載

②国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」についての実施状況

- 次の2項目の実施状況をチェックし、いずれも着実に実施されていることを確認した。
- ・ 法人制度のメリットを活かした財務内容の改善
 - ・ 人件費削減に向けた計画的な取組み

＜小項目評価の集計結果＞

15項目のすべてが、小項目評価のⅢまたはⅣに該当し、ウェイト2を考慮すると、Ⅲ～Ⅴの項目の割合は17/17となることから、小項目評価の集計では、A評価（「計画どおり」に進捗している）となる。

| | 評価の 対象項 目数 | ウェイト を考慮し た項目数 | I 計画を大 幅に下回 っている | II 計画を十 分に実施 できてい ない | III 計画を順 調に実施 している | IV 計画を上 回って実 施してい る | V 計画を大 幅に上回 って実施 している |
|--------------------|------------------|----------------------|---------------------------|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 外部研究資金等の自己 収入増加 | 5 | 7 | 0 | 0 | 5 | 2 | 0 |
| 経費の抑制 | 7 | 7 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 |
| 資金の運用管理の改善 | 3 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 合計 | 15 | 17 | 0 | 0 | 15 | 2 | 0 |
| | | | | | 17 | | |

<法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ>

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

<委員からのコメントを記載>

<法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ>

3-3 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価

(1) 評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、A評価（「計画どおり」進捗している）である。「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価の判断理由のことから、大項目評価としては、※評価（※※※※※※）が妥当であると判断した。

| | | | | | |
|------|--------------------|------------|--------------------|--------------|--------------------|
| 評価結果 | S 特筆すべき 進捗状況 | A 計画どおり | B おおむね計画 どおり | C やや遅れている | D 重大な改善事 項あり |
|------|--------------------|------------|--------------------|--------------|--------------------|

（参考）17年度評価：A

18年度評価：A（全学単位の自己点検・評価の19年度実施に向けた準備が計画どおり推進）

<大項目評価にあたって考慮した事項>

①特筆すべき小項目評価

- 特記事項なし

②国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」についての実施状況

- 次の2項目の実施状況をチェックし、2項目とも着実に実施されていることを確認した。
- ・ 自己点検・評価制度の導入
 - ・ 情報発信・情報公開の促進

<小項目評価の集計結果>

6項目すべてが小項目評価のⅢに該当し、ウェイト2を考慮すると、Ⅲ～Ⅴの項目の割合は8/8となることから、小項目評価の集計では、A評価（「計画どおり」に進捗している）となる。

| | 評価の 対象項 目数 | ウェイト を考慮し た項目数 | I 計画を大 幅に下回 っている | II 計画を十 分に実施 できてい ない | III 計画を順 調に実施 している | IV 計画を上 回って実 施してい る | V 計画を大 幅に上回 って実施 している |
|-------|------------------|----------------------|---------------------------|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 評価の充実 | 2 | 4 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 情報公開 | 4 | 4 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 合計 | 6 | 8 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 |
| | | | | | 8 | | |

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

<委員からのコメントを記載>

<法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ>

3-4 「その他の業務運営」に関する大項目評価

(1) 評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、A評価（「計画どおり」進捗している）である。「その他の業務運営」に関する大項目評価の判断理由のことから、大項目評価としては、※評価（※※※※※）が妥当であると判断した。

| | | | | | |
|------|--------------------|------------|--------------------|------------------|--------------------|
| 評価結果 | S 特筆すべき 進捗状況 | A 計画どおり | B おおむね計画 どおり | C やや遅れてい る | D 重大な改善事 項あり |
|------|--------------------|------------|--------------------|------------------|--------------------|

（参考）17年度評価：A

18年度評価：A（多様な事業スキームを活用し、早期の施設整備、コスト削減や資金需要の平準化が図られた）

<大項目評価にあたって考慮した事項>

①特筆すべき小項目評価

- 特記事項なし

②国立大学法人評価における「業務運営等の共通事項」についての実施状況

- 次の2項目の実施状況をチェックし、2項目とも着実に実施されていることを確認した。
- ・ 施設・設備の計画的な整備や効率的な活用
 - ・ 適切な危機管理体制の整備、危機事象発生時の適切な対応

<小項目評価の集計結果>

20項目すべてが小項目評価のⅢに該当しており、項目（192）及び（193）のウェイト2を考慮しても、Ⅲ～Ⅴの項目の割合は22/22となることから、小項目評価の集計では、A評価（「計画どおり」に進捗している）となる。

| | 評価の 対象項 目数 | ウェイト を考慮し た項目数 | I 計画を大 幅に下回 っている | II 計画を十 分に実施 できてい ない | III 計画を順 調に実施 している | IV 計画を上 回って実 施してい る | V 計画を大 幅に上回 って実施 している |
|----------|------------------|----------------------|---------------------------|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 施設設備の整備等 | 9 | 11 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 |
| 安全管理等 | 6 | 6 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 |
| 人権 | 5 | 5 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 合計 | 20 | 22 | 0 | 0 | 22 | 0 | 0 |
| | | | | | 22 | | |

(2) 評価にあたっての意見、指摘等

<委員からのコメントを記載>

<法人の自己評価を基にした評価結果のイメージ>

(2) 進捗状況の確認にあたっての意見、指摘等

<委員からのコメントを記載>